

## 総合的な学習 「聴覚障がい者の理解」

相模原市立北相中学校



### 単元（題材）目標

- 実際に障がいを体験したり、当事者の体験談を聞いたりすることにより、相手の気持ちを考え、その人にとって何が「やさしさ」なのかを考えて生活することの大切さに気付かせる。

### (1) 実施時期

平成31年2月26日（火）

### (2) 対象（学年等・人数）

第1学年 26名

### (3) 指導者（教諭・外部講師等）

社会福祉協議会の協力  
地域手話クラブのボランティアの方々  
ろう・難聴のボランティアの方



### (4) 実施内容

- 手話体験  
「聴覚障がい者の理解について」の講話と、多様なコミュニケーション方法や手話で行う簡単な挨拶、自分の名前について学ぶ。
- 要約筆記体験  
話した言葉を伝えるために、要点を絞って素早く書く方法を学ぶ。

### (5) 成果

- 実際に街で助けを求められたときに、どんな方法で相手に伝えることができるのかを直接講師の方にお聞きし、理解を深めることができた。
- 「わかる・わからない」「同じ・ちがう」「もう一度お願いします」「ありがとう」といった手話を覚えることができた。

《生徒の感想から》

- 手話や筆談以外にも、空書きや指さし、指文字があることを知ることができました。何より、相手に伝えようとする気持ちが大事だとわかりました。

### (6) その他

- 学校ホームページや学校だよりで活動の紹介を行った。